

46年間お疲れ様でした 市役所旧庁舎閉庁式

市役所旧庁舎の閉庁式が5月2日、業務終了後に行われました。

市役所旧庁舎は、昭和46年9月15日に鉄筋コンクリート地下1階、地上4階、総工費約6億円で建設されました。建設当時は、9階建ても可能な構造で将来的に増築する予定でしたが、耐震構造が厳格化したため、増築計画は達成されませんでした。

閉庁式では平山市長が「旧庁舎が長年、市民生活を支えてきたことに感謝します。旧庁舎が果たしてきた使命や思い出を胸に刻み、さらなる行政サービスの充実に職員一丸で取り組みます」と話していました。



新庁舎開庁式が行われました



新庁舎開庁式の様子

平成28年4月から建設が開始した市役所新庁舎がこの度完成し、5月7日に開庁式が行われました。

新庁舎は、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積9,480.45平方メートルで明るく開放的な造りとなっており、窓口の効果的な配置、番号発券窓口システムのほか、分散していた教育委員会や上下水道部などが集約され、これまで以上に身近で利用しやすい市役所となっています。平山市長は「これまで以上に便利で身近になったと実感していただけるよう、更なる行政サービスの充実のため、職員が一丸となって取り組むとともに庁舎に多くの人々が集うことで地域に新たな賑わいが生まれ、地域の活力向上、活性化に繋がってほしい」と述べました。

立佞武多銅像除幕式が行われました



立佞武多除幕式の様子

5月7日、新庁舎開庁に伴い、文化勲章受章者の彫刻家中村晋也さん(鹿児島県鹿児島市)が手掛けた五所川原立佞武多の銅像「親子の旅立ち」が市民の土間スペースに設置されました。この銅像は、人々が集い、活気にあふれる場所になればとの思いから、当市出身で名誉市民の山田春雄さん(東京都世田谷区)より寄附をいただき、制作されました。

高さ約1.3m(台座を除く)の銅像は、周囲に引き手や囃子手などの人形が約330体配置され、まつりのにぎわいを伝えています。除幕式では平山市長が「有志の手で復活を遂げ、市民協働のシンボルである立佞武多同様、新庁舎の新たな顔として、地域に賑わいと活力をもたらしてほしい」と述べました。

市公式Facebook限定 ごしょりんりporter募集

市公式Facebookを利用し、ごしょりんりporterとして五所川原の魅力を発信してみませんか。

募集期間…7月2日(月)～7月31日(火)

募集人数…10名(定数を超えた場合は応募を締め切ります)

*ごしょりんりporterには、リporterの証である缶バッジを差し上げます。

対象…下記の全てを満たす方

- ▷市内在住の方
- ▷中学生以下の場合は保護者の同意を得ている方
- ▷電子データによりデータ提供できる方
- ▷当市PR等のため、投稿した写真等の二次利用に同意できる方

記事の内容…市内のイベント・身近なまちの話題・地域活動等における記事本文、写真、撮影場所、撮影日時、ペンネーム

申込み…総務課または市ホームページから「ごしょりんりporter申込書」を入手し、必要事項を記入して総務課へ提出してください。

*記事の応募は電子メールのみ受付します。郵送等による応募は受付できません。

*ご本人が撮影した写真に限ります。

*投稿は1人何回でも可能です。

*詳細は受付期間が近くなりましたら、市ホームページでお知らせします。

問…総務課 内線2118